

イノベーションによる新たな成長 に向けた取り組みについて

1 Society5.0を実現する「X-TECH(クロステック)イノベーション都市・仙台」の推進

(1) 課題・背景

復興需要の収束

- ・ 2015年度の名目市内総生産額は5兆577億円
- ・ 建設業が2010年度に比べ3,961億円（約3倍）の増
他の産業はほぼ横ばい

人材の首都圏への流出

- ・ 2017年の東京圏への転出超過数が全国で一番
- ・ 東北全域の若者が本市を經由して首都圏へ流出

課題先進地・東北

- ・ 人口減少は全国平均と比べ約2倍のスピード
- ・ 2040年に20～30代の女性が50%以上減少すると推測される「消滅可能性都市」が、東北地方では8割
- ・ 東北地方は、人口減少による「課題先進地」

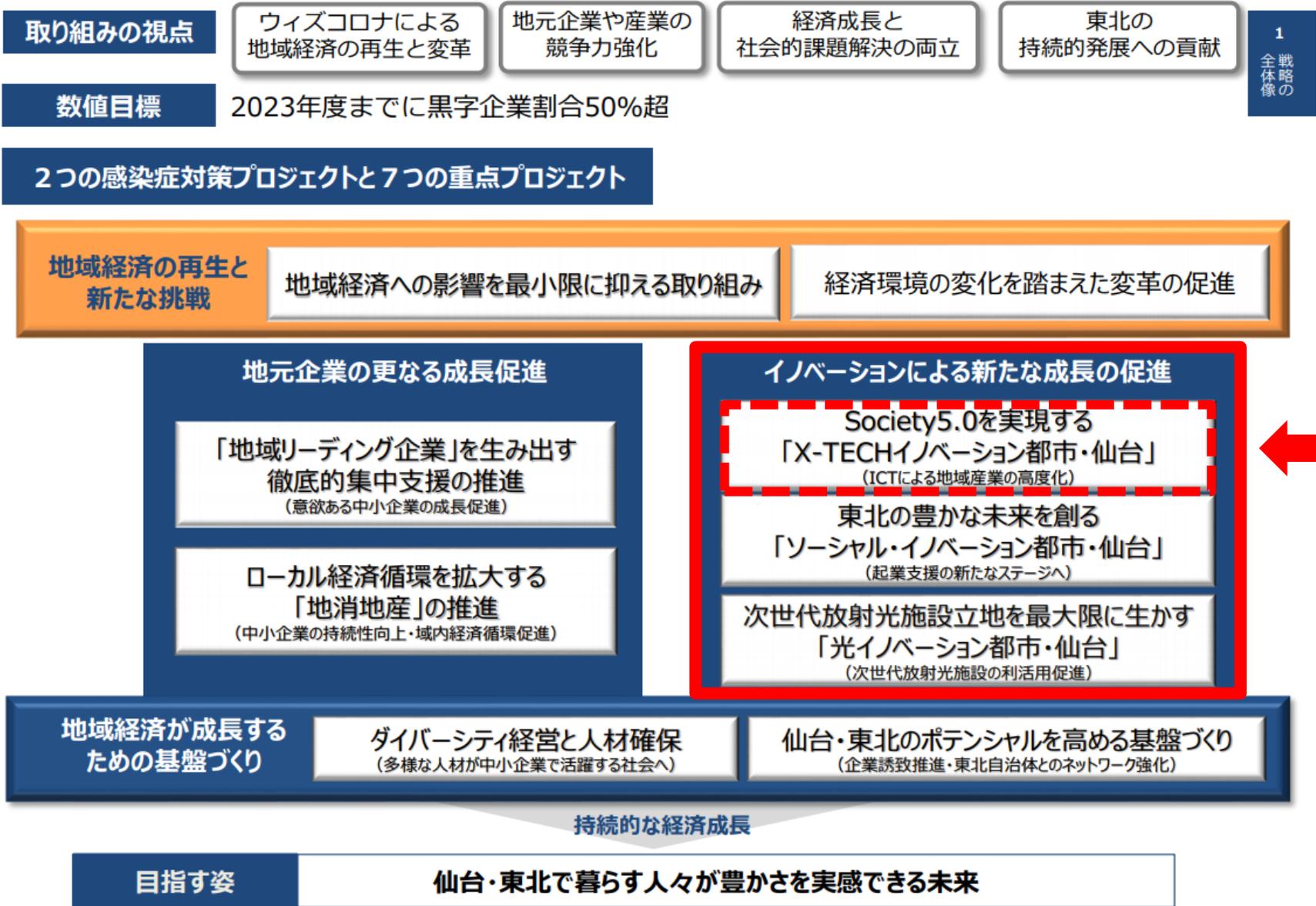
	全国	東北
65歳以上の人口割合 (2035年)	32.8%	<u>38.9%</u>
人口減少率 (2015-2045年)	16.3%	<u>31.0%</u>
消滅可能性都市の割合	49.8%	<u>79.7%</u>

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」・
日本創成会議作成資料より推計

→ 課題解決と経済成長の両立がカギ

(2) 仙台市経済成長戦略2023（改訂版）での位置づけ

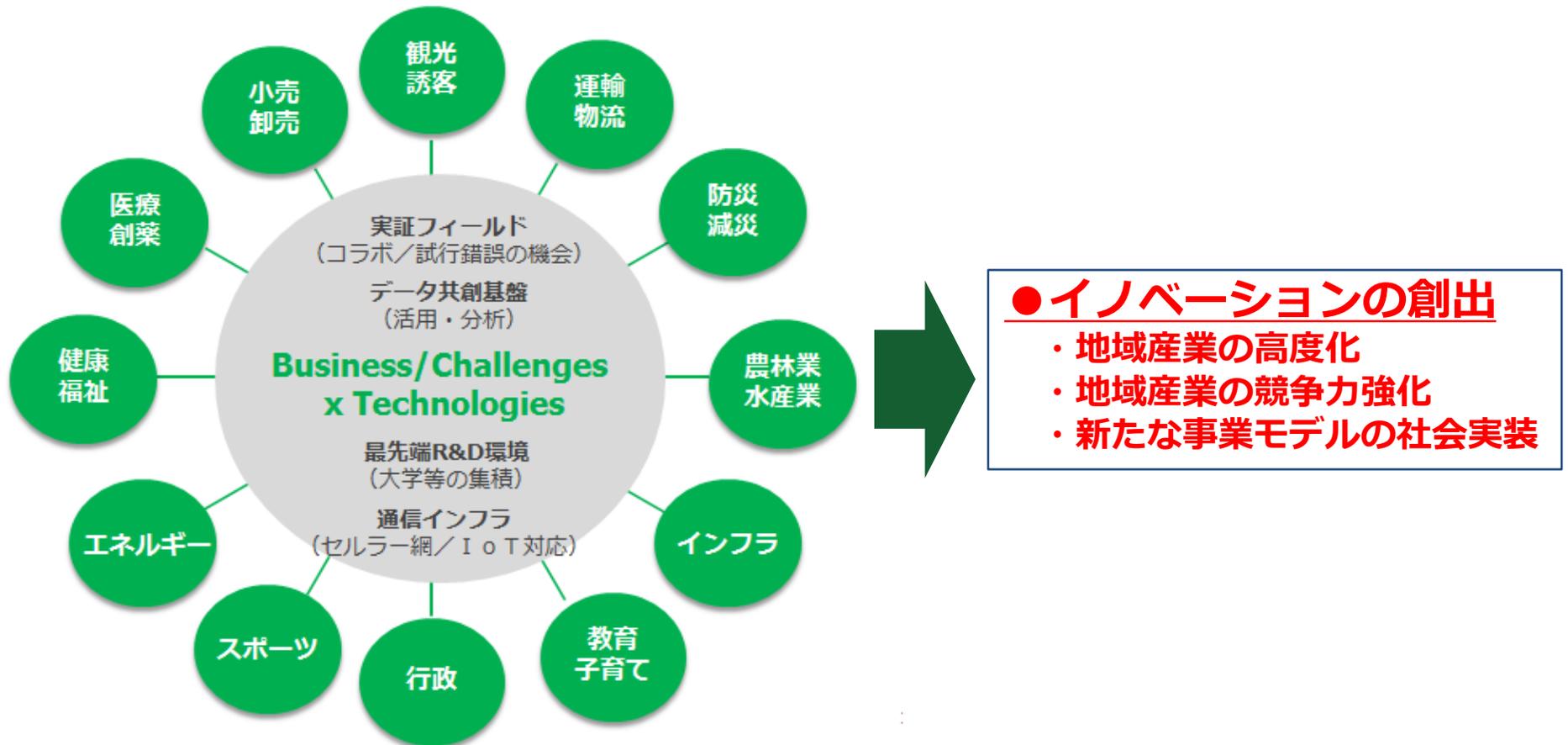
1 仙台市経済成長戦略2023の全体像【2019～2023年度】



(3) X-TECHイノベーション都市・仙台

①概要

○本市におけるIT産業の集積を活かし、様々な産業・業種とITとの掛け合わせによるイノベーションの創出に取り組むとともに、取り組みの基盤となるIT産業のさらなる振興や先端IT人材の育成・確保に取り組む。



(3) X-TECHイノベーション都市・仙台

②事業内容 I : 次世代X-TECHビジネス創出促進事業

AIやIoTをはじめとする先端IT技術と様々な産業との掛け合わせによる**新事業の創出**や、それをリードする**人材の育成・交流の促進**などにより、テクノロジーの力でイノベーションを生み出し、**地域産業の高度化・高付加価値化**や**新たな事業モデルの社会実装**を目指す。

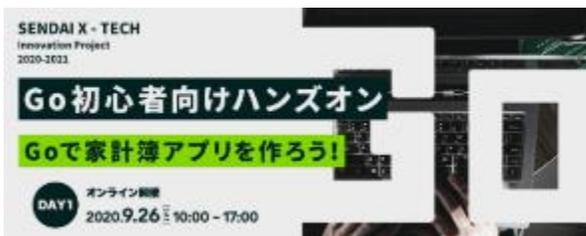
H30年度～R2年度の事業実績

- 地元企業とIT企業との共創による新規事業創出のためのプログラム



プログラムから生まれた実証実験

- IT技術力やビジネス開発力の向上に向けたハンズオン講座



R3年度事業 : AIに関するビジネス創出・人材育成プログラム

- **【AIビジネス創出】** : AIサービスの開発を体験するプログラムや、自社におけるAIビジネスモデルを考えるワークショップ等



- **【AI人材育成】** : 文系出身者等を対象とした基礎的なセミナーや、AIに関する資格取得を目指す人材育成プログラム等



- この他、AIビジネスの検討・実証を伴走支援するメンタリングプログラムやAIビジネスアイデアコンテスト等を年度内に実施予定

(3) X-TECHイノベーション都市・仙台

②事業内容Ⅱ：BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

産学官金連携により、防災関連産業のオープンイノベーションに取り組み、新たな製品・サービスの開発を支援するとともに、BOSAI-TECHイノベーション・エコシステムの形成を通じて、仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指す。

仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームの設立（正式設立：2021年度内） 【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した新たな解決策を生み出す場



Webサイトイメージ（ベータ版サイト）



活動内容（実施中）

ビジネス
人材・企業

防災
人材・企業

テクノロジー
人材・企業

3者の人材・企業が融合する
交流イベント

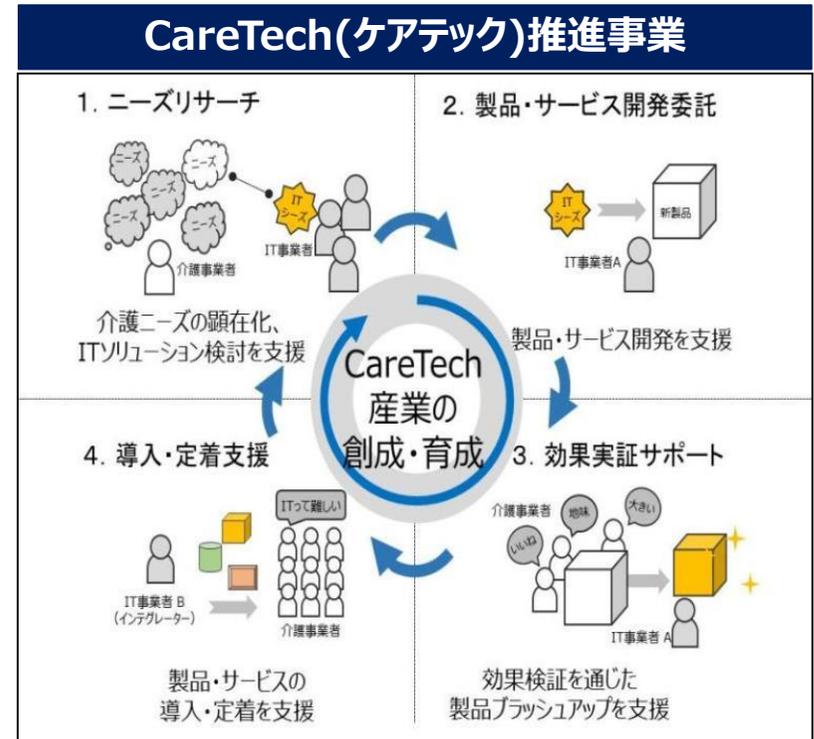
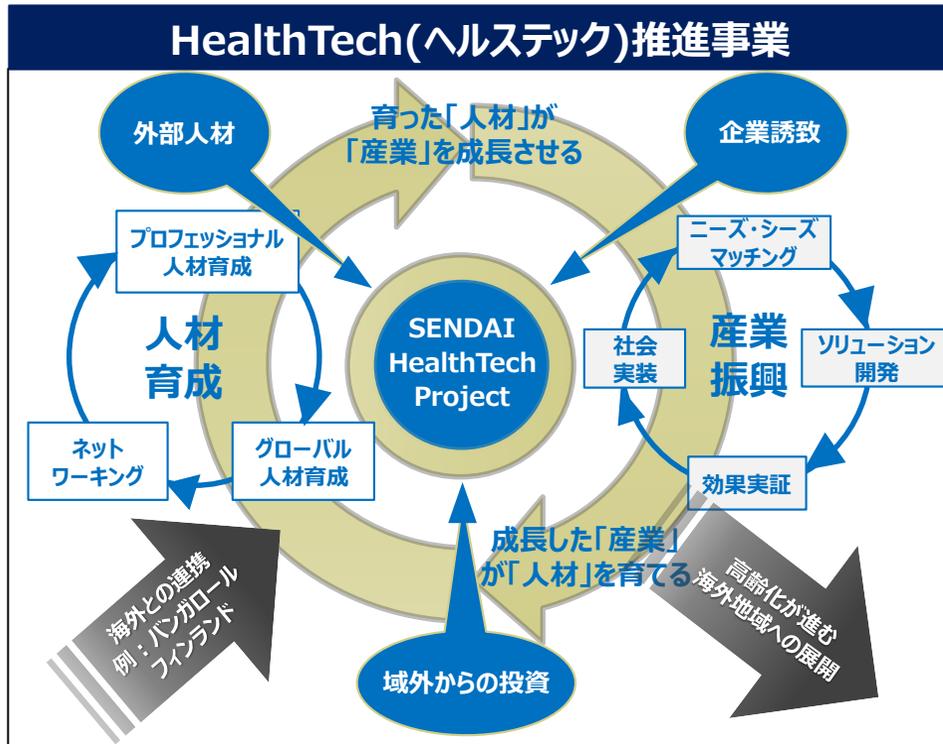
インスピレーションを生み出す
事業創出プログラム
(プランニングコンテスト等)

プランを実践的な場で試す
実証実験

経験を共有する
活動レポート
・報告会

(3) X-TECHイノベーション都市・仙台

②事業内容Ⅲ： HealthTech推進事業・CareTech推進事業



R1-3 コンソーシアム68社 (YouTube400回) 東北大学病院連携

R1-3 ニーズリサーチ150社、開発・実証10社支援

Society5.0を実現する「X-TECH(クロステック)イノベーション都市・仙台」の推進における実績値

R2年度までの実績：76件

(KPI：プロジェクトを通じた新たな製品・サービスの開発件数：100件 (2019年度～2023年度))

②事業内容Ⅳ：産学官金連携の取り組み

東北大学情報知能システム（IIS）研究センター

これまでの支援事例

タラ雌雄判別機



超音波IC-技術
(東北大学)

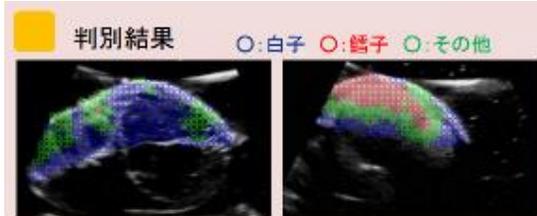
×

地元IT企業他

×

漁協

→製品化



ベビーホタテの自動ウロ取りロボット



画像処理技術
(東北大学)

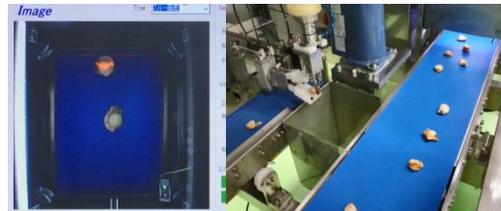
×

地元IT企業他

×

大手ロボット企業

→製品化



地域企業への波及効果（アンケート結果）

	新規事業 売上高			新規雇用者数		
	全体	うち市内	市内割合	全体	うち市内	市内割合
R1までの累計	28.1億円	23.0億円	81.9%	113人	86人	76.1%
R2	3.0億円	3.0億円	99.6%	11人	11人	100.0%
合計	31.1億円	26.0億円	83.6%	124人	97人	78.2%

(4) 地域企業のデジタル化支援

地域企業のデジタル化を推進し、新規販路開拓や生産性向上等による経営力強化に向けて、専門家による伴走支援やセミナー、地域IT企業とのマッチング等に加え、新しいビジネススタイルであるテレワーク導入を支援する。

啓発セミナー

地域企業の
デジタル化の
機運醸成

IT担当者研修

社内のIT担当者として
必要な知識・技術の
習得

デジタル化推進イベント

デジタル技術を実際
に体験し、活用方法
を学べるイベント

デジタル化を自ら推進できる企業へ

専門家等による伴走型支援



テレワークサポートデスク（相談窓口）



各種研修・セミナー



推進イベント

【目標】

テレワークサポートデスク利用者数：120名、利用者満足度：75%以上

【実績】

令和2年度相談件数：67件、令和3年度相談件数：145件

2 その他 経済成長に向けたプロジェクト

(1) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」

起業のすそ野拡大を目的とした起業支援に加えて、地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出や社会的課題に対して持続可能な解決策に挑戦する社会起業家の育成に取り組み、多彩な起業家が集結し、東北の豊かな未来を共創する「**ソーシャルイノベーターの聖地**」を目指す。

仙台市起業支援センター **アシ☆スタ**



東北グロースアクセラレーター **TGA**
TOHOKU GROWTH ACCELERATOR



ソーシャル・イノベーション
アクセラレーター **SOCIAL INNOVATION
Accelerator**



SENDAI NEW PUBLIC



SENDAI for Startups!



仙台スタートアップ・エコシステム
推進協議会



【KPI】 開業3年後の事業継続率※ 目標：70% → R2年度実績：84.5%

※仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」の支援により開業した事業所

(2) 次世代放射光施設立地を最大限に生かす「光イノベーション都市・仙台」

2023年度に東北大学青葉山新キャンパス内にて稼働予定の次世代放射光施設の立地を、仙台・東北におけるイノベーションや付加価値の創出などにつなげ、地域経済への波及効果を最大限生み出す「光イノベーション都市」実現を目指す。

【トライアルユース事業】

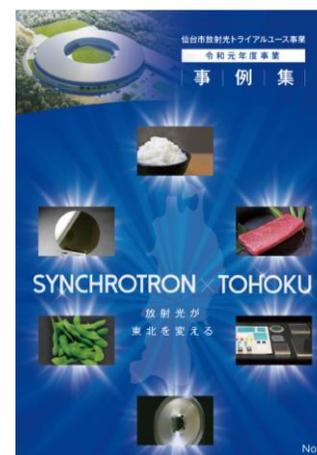
- 既存放射光施設を活用して多種多様な事例を創出し、その事例をもとに普及啓発を行う。
- 公募により選定された事業者が、SPring-8（兵庫県）等に赴き、測定を実施。
- 測定結果を提出してもらい、パンフレットや成果発表会により、普及啓発を実施。



次世代放射光施設イメージ図



SPring-8での測定作業の様子



令和元年度「トライアルユース事業」事例集パンフレット



【KPI】 次世代放射光施設有力分野における先行取組事例創出数 目標：50件（R1～R5の累計）
→ 実績（予定含む）：22件（R1～R3の累計）